

1. 教科の目標

(1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
(2) かさ、重さや時間などの単位や測定について理解できるようにする。
(3) 図形を構成する要素に着目して、基本的な図形について理解できるようにする。
(4) 資料を整理して表やグラフに表したり用いたりすることができるようにし、それらの有用さがわかるようにする。

2. 到達目標

観点	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
目標	知識や技能などの有用さおよび数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活に生かそうとする。	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。	整数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに物の大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料や表やグラフに表したりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味および資料の表し方を理解している。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	たし算とひき算	・(3位数)±(3位数)の計算のしかたや、計算の確かめの仕方がわかる。
5	かけ算	・乗法に関して成り立つ性質がわかる。また、0の乗法や何十・何百に1位数をかける乗法の計算の仕方がわかる。
6	かけ算のひっさん 時間と時こく	・既習の乗法や計算のきまりを活用して、(2・3位数)×(1位数)の計算の仕方を考えたり、計算の仕方を説明したりできる。 ・時刻と時間の違いがわかり、1分=60秒、1時間=60分、1日=24時間の関係がわかる。
7	表とグラフ	・表やグラフを読んだり、かいたりできる。目的に応じてこれらを使い分けることができる。
9	長さ かさ	・巻尺の使い方や、「道のり」と「きょり」の意味がわかる。また、kmとmの関係(1km=1000m)がわかる。 ・単位の大きさを決めると「かさ」を数で表すことができる。また、かさの大きさによってますを選択することができる。 1リットルますを使って、かさを測ることができる。また、かさの加減の計算ができる。
10	わり算	・除法が用いられる場面や意味がわかる。また、乗法九九を用いた除法の答えの求め方がわかる
11	形 大きな数	・図形の構成要素に着目して、直角三角形や長方形、正方形を弁別したり作図したりすることができる ・千万の位までの数の構成、がわかる。10倍、100倍したり、10でわったりした数の求め方がわかる
12	あまりのあるわり算	・あまりのあるわり算の意味や処理のしかたを具体的な場面と結びつけながら説明することができる。計算やあまりの処理ができる。
1	2けたのかけ算	・乗数が2位数になっても、乗数を位ごとに分けて計算し、その部分積をたすと積が求められるというという筆算の意味が分かる。
2	重さ 箱の形	・他の量と同様に単位とする重さを決め、そのいくつかで測定できることを理解できる。はかりを使っているいろいろな重さを測り、gやkgの単位を用いて表すことができる。 ・構成要素をもとに箱の形やその組み立て方を考えることができる。箱の形の面を写し取り、開いた形に並べて、もとの箱の形に作り上げることができる。
3	3年のまとめ	

4. 評価の観点・方法

・次のような方法で評価していきます。 発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度 発表 取り組む様子 ワークシート 練習問題 ドリル
--

5. 保護者の皆様へ

3年生では、定規などの学習用具をもちいての学習が多くあります。用具を忘れると学習に支障をきたします。学校でも忘れ物をしないように指導しますが、ご家庭でもご指導のほどよろしくお願いします。 また、大きな数の足し算や引き算、新しく学習するわり算があります。基礎的な計算の定着を図るために反復練習をさせていただきます。
